

具材に椎茸の軸を使用した
創作肉まんを考案！

(雪花菜工房 5月17日)



まちの話題

TOWN TOPICS



●身近で楽しい話題、明るい話題待っています。
広報こまつま TEL 32-3812

4/23

昔ながらの田植えに挑戦 農業の大変さを学ぶ

総合学習の一環として、新開小学校児童の1年生39名と5年生39名が4月23日、同小学校付近にある水田で田植え体験を行いました。

同体験をお世話する「地域の安全を守る会」の指導のもと、児童らは、印を付けたロープに沿って数株ずつ丁寧にコシヒカリの苗を植え、約1時間の作業で立派な苗の列が完成。手や足を泥だらけにしながらも、児童たちは大喜びでした。



一生懸命田植えに挑戦する児童たち

5/5

交通安全を願って！ お遍路さんに反射たすき配付

交通死亡事故の抑止を目的に5月5日、立江交通防犯推進協議会の方や市職員、小松島警察署の署員ら計13名が、立江寺でお遍路さんたちを対象にした交通安全キャンペーンを行いました。

同キャンペーンには、市の観光PR用マスコットキャラクター『こまポン』も参加。お遍路さんや参拝者などに交通安全を訴えるチラシと反射たすきなどを手渡し、交通安全を呼びかけていました。



反射たすきなどを配り交通安全をPR！

5/2

いつまでもお元気で 門田ヨシエさん満百歳を祝う



お元気にお礼を述べられる門田ヨシエさん

芝生町の門田ヨシエさんが5月2日、満百歳の誕生日を迎えられ、門田さんの自宅を森市民環境部長や県職員らが訪問し、長寿を祝いました。祝い状などを手渡された門田さんは、笑顔でお礼を述べられていました。

門田さんは大正2年生まれ。体調は良好で、週2回通っているデイケアで最近、卓球をされたとのこと。食事も家族とほぼ同じメニューで、天ぷらなども食べられるそうです。

5/12

楽しく元気に！威勢よく！ 神輿を担ぐ子どもたち



タヌキ神輿を元気いっぱい担ぐ児童たち

第31回小松島春のまつり。金長まつりが5月12日、中田町の市営グラウンド一帯で開催され、さまざまなイベントが催されました。

晴天で気持ちの良い気候の下、はちまき姿の児童らに元気よく担がれるタヌキ神輿を先頭に、金冠をかぶり、雅やかな衣装を着飾った稚児たちによる稚児行列が行われたほか、写生大会やもち投げなどの催しも行われ、会場は終日家族連れらで賑わいました。